

水通信



2021.10.28 第182号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

目 次

☆ [【巻頭言】](#)

- 中部支社事業部長 河合 久志

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#)

☆ 《新着情報》

[中部支社](#)

- 大規模地震を想定した防災訓練を実施しました
- 「令和3年度（第24回）中部ブロック技術研究発表会」を開催しました

豊川用水

- 一日水源管理所長業務体験について
- 出前講座をZOOMで実施しました！

木曽川水系連絡導水路

- 「エコキャップ運動」に参加しました

愛知用水

- 愛知用水通水60周年記念イベントを開催しました

木曽川用水

- 環境水路の生き物調査に参加しました！！
- 豊川総合用水土地改良区が木曽川右岸施設を視察しました

岩屋ダム

- 馬瀬小学校校外学習で岩屋ダムを見学！

阿木川ダム

- インターンシップを実施しました

徳山ダム

- 船舶「とくまる」の救難訓練を実施しました

長良川河口堰

- 大規模地震を想定した地震防災訓練を行いました

味噌川ダム

- 地震防災訓練を実施しました
- 交通安全講習会を開きました

三重用水

- 赤川の清掃活動を実施しました
- 地震防災訓練（個別訓練）を実施しました
- 中里ダムにおいて桑名市消防訓練が行われました
- 菰野調整池（きらら湖）において「赤とんぼふる里さがし」が開催されました
- 船舶操縦訓練を開催しました

☆ 【イベントカレンダー】

- 令和3年11月～12月

☆ 【編集後記】

- 担当課 中部支社事業部水管理・防災課

巻頭言

【中部支社事業部長 河合 久志】

本年4月1日付けで中部支社事業部長を拝命しました河合と申します。中部支社管内の勤務は、通算21年目で7回目となり、中部支社や水路系事務所で勤務してきました。中部支社は、15年ぶりの勤務となりますが、これまでと同様引き続きよろしく願いいたします。

本年度も6ヶ月が経過しました。上半期を振り返ると、例年より早い梅雨入り（東海地方の確定値では平年より若干遅かった）や停滞前線の影響により、日本各地で観測史上最大の時間雨量や月間降水量を記録しました。

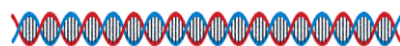
中部支社管内の利水ダムでは、牧尾ダム、宇連ダム、大島ダムで事前放流を行い、特定施設の各ダムでは適切な洪水操作を実施し、下流地域の洪水被害の低減に寄与しました。一方、現在の各ダム、調整池の利水貯水量は平年を上回る状況が続いています。

8月の降雨では木曾川大堰地点の河川流量が10,138 m³/s（2年連続で既往最大を更新）を記録するなど、近年の雨の降り方は両極端になっている傾向があり、治水、利水ともに降雨の状況を注視し、適切な管理に努めて参ります。

昨年度から新型コロナウイルス感染症が蔓延し、仕事面や私生活等において様々な制約を受けています。これまでも「働き方改革」の一環としてテレワークが推奨されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためテレワークやweb方式による会議が行われるようになり、職場環境の変化が加速しています。

テレワークやWeb会議は、通勤時間や出張など移動にかかる時間が短縮され、時間の有効活用に繋がっている反面、仕事は顔と顔を付き合わせて行うことで良好な人間関係が構築されると感じており、画面上での付き合いが味気ない気がします。

いずれにしても、早く新型コロナウイルス感染症が収束し、以前のように制約を受けない生活を送りながら、効率的な仕事出来る日を望んでいます。



中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける10月27日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の10月降雨量は平年を下回る状況（平年比23%～66%）となっていますが、4ダム合計の貯水率は97%（平年比111%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの10月降雨量は、平年を下回る状況（平年比22%～25%）となっていますが、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は89%（平年比103%）と平年を上回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける10月の降雨及び利水貯水率（10月27日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	44	66	41	23	25	22	28	17
利水貯水率	91.1	100	100	100	85.5	94.0	82.6	100
（平年比）	(121.3)	(106.3)	(103.3)	(108.1)	(104.3)	(98.5)	(107.5)	(100)

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

- ◆中部管内の水源状況（平日更新） <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou03-1.html>



インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、豊川用水総合事業部新城支所にて現場技術業務に従事されている現場技術員さんに、日頃の業務の状況や豊川用水二期事業に関わる思いなどについてお話を伺いました。



(写真： 担当工区「豊川用水二期東部幹線併設水路浅間・風越工区工事」概要板の前にて)

<Profile>

岩田 祥佳 Hiroka Iwata
株式会社パブリック 現場技術員
(豊川用水総合事業部 新城支所勤務)

平成24年 土木会社 入社

平成27年 設計会社 入社

平成29年 土木会社 入社

令和2年 株式会社パブリック 入社

豊川用水総合事業部 新城支所に配属、
現在に至る

岩田さんは現在、豊川用水総合事業部新城支所にて豊川用水二期（大規模地震対策）事業に現場技術員として携わっておられますが、これまではどのような業務を経験されてきたのですか。

—— 学生時代は英語を専攻していたため、建設業との関わりはありませんでした。私が就職活動を行っていた時期は就職難で、当時はなかなか内定が出ず焦っていました。でも「大きな乗り物が好きだから」という理由で受けた、地元岐阜県の橋梁工事を行うクレーン会社にご縁があり、建設業界に足を踏み入れました。その後上水道の設計会社や水道工事会社を経て、昨年より現在の会社に勤めています。

これまでの会社では、大型重機・トレーラーの作業計画策定や現場での補助、上水道の配管図面の作成や、その敷設工事等に携わってきました。現場からデスクワークまで、幅広く経験させて頂いたのは有難かったです。仕事は大変なことの方が多いですが、自分が関わった工事の構造物を目にすると、この仕事をしていて良かったと感じます。最近では周りの方々のサポートもあり、一級土木施工管理技士を取得できたことで、少しだけ自分に自信ができました。

大きな乗り物が好きだったことがきっかけで建設業界に入職されたのですね。それでは、岩田さんが現場技術員を志したきっかけについて教えてください。

— 実は「現場技術員」について、今の会社に入るまでその存在を知りませんでした。現在の会社の面接を受けた際に、こんな仕事があると説明を受けたのが発注者を支援する「現場技術業務」でした。今までの経験を活かせるような仕事がしたい、50歳、60歳になっても続けられる仕事がしたいと思っていたので、デスクワークと現場との仕事量のバランスが良いこの仕事は魅力的でした。まだまだ男性が多い業界なので、私に務まるかという不安はもちろんありましたが、面接官からの説明で近年の女性技術者の活躍やその環境作りへの取り組みを知り、この仕事に挑戦しようと思いました。また今までは比較的小規模の現場が多かったため、大規模な現場を経験出来ることも楽しみでした。

現在は豊川用水総合事業部にて大規模地震対策事業に携わられていますが、具体的にどのような業務を行われているのでしょうか。

— 私たち大規模地震対策現場技術業務では、主に豊川用水幹線水路の複線化に伴う併設水路の大野導水路、浅間・風越工区、駒場池工区、御津工区、豊岡工区の水路トンネル工事に伴う工事監督及び工事資料の作成業務を行っています。そのなかでも私は浅間・風越工区の工事を担当し、施工業者とのコミュニケーションのなかで工事を円滑に進め、設計図書に沿った品質や出来形を管理しています。また、設計図書と現地状況が相違する場合は設計図面の修正や数量計算書、積算に関する資料を作成しています。

お話いただいたとおり、岩田さんはこうした豊川用水二期事業を支える「縁の下の力持ち」として日々業務に従事していただいておりますが、豊川用水は50年以上にわたり地域を潤し、愛知県東三河地域や静岡県湖西市の飛躍的な発展に大きく貢献してきました。こうした豊川用水施設や水資源機構について、これまでご存知でしたか。

— 恐縮ですが、現職に就くまでは存じ上げませんでした。しかし岐阜の実家では小規模ながら農業を営んでいたため、水の大切さやその恩恵についてはある程度理解しています。また弊社の新人研修では、豊川用水管内の施設や二期事業での石綿管除去対策及び大規模地震対策の工事概要等についての説明を受け現地に着任しましたが、実際に見る施設や工事の規模の大きさに圧倒されるとともに、微力ながらそのような事業に携われることを嬉しく思いました。

豊川用水二期事業を推進していくなかで、今後ますます現場技術員のサポートの重要性が増すと思われま。円滑な業務遂行のためにどのような点に気を配っているか教えてください。

— まず職員との意思疎通を第一に考え、手戻りなく精度の高い成果品の作成を目指しています。そのためには基本的なスキルですが、管理技術者との「報・連・相」や先輩技術員とのダブルチェックを確実に行うよう心掛けています。

また、「現場を知ること」に積極的に取り組み、疑問点等は経験豊富な先輩方のご指導の下、日々勉強という気持ちで業務に励んでいます。

非常に頼もしいお言葉ですね。豊川用水二期事業に携わる現場技術員として、どんな時にやりがいを感じますか。

—— 担当する工事の変更作業において、当初設計の基本方針や考え方を読み解きし作成する、そのような苦労や時間をかけた成果に対し「わかりやすい」などの言葉を頂いたときは業務の達成感を覚えます。

また、「やりがい」からは外れるかもしれませんが、好奇心旺盛な私には大野導水路のTBM工法、浅間・風越工区のNATM工法、豊岡工区のシールド工法と様々なトンネル工法を体験できることにワクワクしています。

岩田さんは新城支所での勤務が1年目ということで、慣れない業務や多忙な職場でストレスもあるかと思いますが、ストレス解消のためにしていることがあれば教えてください。

—— 趣味に没頭することですね。休日はゴルフ、溪流釣り、ジョギングなどを楽しんでいます。特にゴルフは職場の先輩方に仕事同様（笑）、熱心に指導して頂いています。また川や海が好きなので、夏になるとほぼ毎週泳ぎに行きます。あとはネイルやメイクが好きなので、普段から楽しんでいます。上手く仕上がると気分も上がり、仕事へのモチベーションにも繋がりますね。もともとストレスを感じやすい性格なので、なるべく普段の生活に楽しみを見つけるよう心掛けています。

多くの趣味があるのは休日を楽しく過ごせるとともに、ストレス解消にも良いことですね。最後になりますが、今後どのように活躍したいと考えておられますか。また、これまで培ってきた経験を今後どのように役立てたいと考えられていますか。

—— こちらに配属されて一年なので、まだまだ先輩方のサポートを受けて業務に勤めています。今後は自分に出来ることを徐々に増やして、将来的には先輩方のように頼られる存在になりたいなと思います。道のりは長いですが、日々の経験の積み重ねを大切にしていきたいです。

担当工区の工事が進捗し業務多忙な中、インタビューにご対応いただきありがとうございました。岩田さんは、これから豊川用水二期事業にて経験を積まれ、今後様々な場所で縁の下の力持ちとして国土や地域社会を支えるインフラの造成・改修に貢献されるものと思われませんが、培われた経験や技術力を武器に、今後のさらなるご活躍を期待しております。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応えていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

《新着情報》

中部支社

○ 大規模地震を想定した防災訓練を実施しました

9月1日（水）、中部支社と管内各事業所が連携して、大規模地震を想定した地震防災訓練を実施しました。

地震防災訓練は、防災業務計画及び同細則と各事業所が策定する業務継続計画（大規模地震編）に基づき、地震発生時における防災業務の円滑かつ適切な遂行及び機構職員の地震に関する防災意識・対応能力の向上を図ることを目的として、毎年実施しています。

今年、コロナ禍であることから、アクリル板の設置、防災要員の間隔確保、換気対策などコロナ感染予防対策を考慮して訓練を実施しました。

訓練当日は、午前9時に地震が発生したと想定し、防災本部の設置、職員及び家族の安否確認、各事業所からの施設点検報告、被災箇所の応急対策検討、関係機関との情報伝達訓練等、一連の訓練を実施しました。

中部支社では、今回の地震防災訓練の結果を踏まえ、課題については改善を図るとともに、実際の地震発生時に適切な対応が行えるよう努めてまいります。



■防災本部の訓練状況



■情報収集伝達訓練状況

○ 「令和3年度（第24回）中部ブロック技術研究発表会」を開催しました

9月6日（月）に令和3年度（第24回）中部ブロック技術研究発表会を開催しました。中部ブロック技術研究発表会は、中部管内で業務に従事する職員が、日常業務の中で実施した試験、調査、計画、設計、施工、管理等に関する研究の報告及び創意工夫した内容の発表提案を行い、技術の向上、開発、蓄積を図るとともに、職員の自己啓発と研究意欲の喚起及

び技術情報発信の場とすることを目的に毎年開催しております。

今年度は、愛知県下に、緊急事態宣言が発令されていたことから発表者は、各事務所からのオンライン発表とするとともに、審査員、聴講者も全てオンライン配信することで感染拡大防止に努めました。

論文及び発表の審査委員として大学等の先生4名に表彰論文の審査に携わっていただくとともに、分野毎の発表を総括したコメントをいただきました。

審査の結果、以下の論文が審査委員長の中部支社長より表彰されました。なお、優秀賞の5題は12月7日(火)に開催予定の本社の技術研究発表会へ中部ブロック代表として発表することとなります。

優秀賞論文一覧

発 表 論 文	発 表 者	
AIを駆使した肌落ち予測システムによるトンネル掘進技術の向上	豊川用水総合事業部 新城支所第一工事課	池内 晃
堤体耐震補強工事に伴う三好池への影響	愛知用水総合管理所 工事課	鈴木 綾子
利水ダムの事前放流がもたらす洪水調節効果と解決すべき課題等について	豊川用水総合事業部 管理課	宮地 優太
岩屋ダムにおける濁水長期化対策の取組(密度流に着目した流入濁質の早期排出)	岩屋ダム管理所	河合 美乃里
阿木川ダム曝気循環設備の新たな運用方式に関する検証	阿木川ダム管理所 維持管理班	西 将吾

特別賞論文一覧

発 表 論 文	発 表 者	
長良川河口堰除塩ポンプ室の浸水発生に関する対応	長良川河口堰管理所 機械課	鈴木 良彦
危機時応援体制の取り組みによる牧尾ダム余水吐開度計不具合の対応について	愛知用水総合管理所 設備課	大屋 怜史
開水路系幹線水路で発生した漏水事故対応と今後の危機管理のあり方について	豊川用水総合事業部 豊橋支所管理課	藪田 暢也



ブレイクタイム 俳句

【 あかあかと日は難面(つれなく)も秋の風 】松尾芭蕉

・秋になったのも素知らぬふりで、赤々と容赦なく日は照り続けているが、吹く風にはさすがに秋の気配が感ぜられる、の意。

豊川用水総合事業部

○ 一日水源管理所長業務体験について

8月23日（月）、「第43回全日本中学生水の作文コンクール」にて“水の週間実行委員会会長賞（優秀賞）”を受賞した中村 光里（なかむら ひかり）さん（愛知県豊橋市立本郷中学校）に水源管理所一日管理所長を委嘱しました。

当日は委嘱書交付の後、職員へ着任の挨拶、管理棟内操作室にてカメラでの施設点検のほか、貯水池の巡視、ダム堤体内では漏水量測定などの現場作業も体験しました。

本人からは、「実際に見て、体験することによって、施設の役割がわかってよかったです。特に、操作室の機器を見て、色々と説明頂きとても勉強になりました。」という感想をいただき、夏休み最後のよい思い出になったことと思います。



■ 委嘱書交付



■ ダム堤体内での測定

○ 出前講座をZOOMで実施しました！

新城市立東郷東小学校の4年生25名を対象に9月28日（火）出前講座を実施しました。

小学校と新城支所をZOOMでつなぎ、ミラーリングした大型テレビ画像を見てもらいながら、豊川用水の歴史・役割の説明やクイズ、さらに、リモートの利点を活かした牟呂松原頭首工のリアルタイム中継も行いました。

新城支所初の試みでしたが、クイズでは挙手数を先生に数えていただくなどのサポートを頂き、スムーズに実施できました。

児童は既に水循環や森と水の間を学習しており、水への関心も高く、「豊川用水で水力発電している施設はあるの？」「頭首工の形がそれぞれ違うのはなぜ？」のほか、「なぜ水資源機構に入ったの？」等の様々な質問がありました。本講座をきっかけに、今まで以上に「水」や「豊川用水」に興味を持っていただければと思います。



■ 出前講座（WEB）の様子



■ パソコンカメラによる画像送信

木曽川水系連絡導水路建設所

○ 「エコキャップ運動」に参加しました

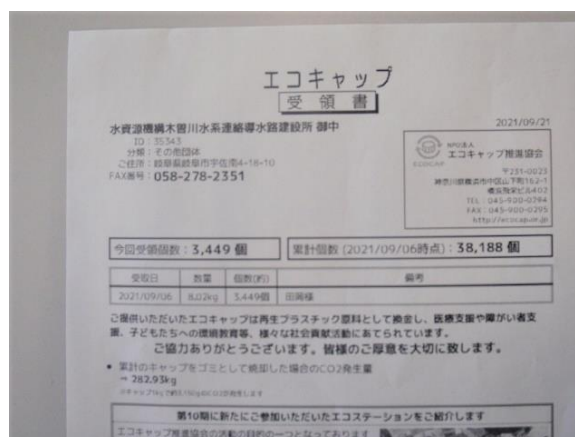
当建設所では平成21年より、リサイクルの促進、CO₂削減、売却益で発展途上国の医療支援、障がい者・高齢者雇用創出を目的とする「エコキャップ運動」に参加しています。ペットボトルのキャップを分別せずに一般ゴミとして焼却した場合、キャップ430個（1kg）で3.15kgのCO₂が発生すると言われていています。今回は中部支社と当建設所の職員が集めたキャップ（3,449個・8.02kg）を最寄りの受け取り事業所を通じてNPO法人エコキャップ推進協会に送付しました。推進協会に依頼しますと、まず、エコキャップの分別作業が障害者施設で行われ、雇用創出に寄与します。

なお、これまでに収集・送付したキャップの累計は38,188個となり、この累計キャップを一般ゴミとして焼却した場合のCO₂発生量282.93kgを抑制したこととなります。

当建設所は今後もこの運動に継続して取り組んでいき、資源の有効活用、持続可能な環境社会の実現、社会貢献活動の推進に寄与していきます。



■ 収集したエコキャップ



■ NPO法人エコキャップ推進協会の受領書

愛知用水総合管理所

○ 愛知用水通水60周年記念イベントを開催しました

愛知用水通水60周年記念事業実行委員会が、9月25日（土）に愛知県大府市のJAあぐりタウンげんきの郷にて、愛知用水通水60周年記念イベントを開催しました。

イベント当日は快晴となり、げんきの郷には多くの来場者が訪れましたが、愛知県内に緊急事態宣言の発令がなされている中でのイベント開催となったことから、県の新型コロナ感染症防止対策に示された条件のもと、消毒・検温・ソーシャルディスタンスの確保を徹底した上で、入場者数を20名以下に制限して実施しました。

愛知用水は、昭和36年9月30日の全面通水より60周年の節目（人間の還暦）を迎えました。このイベントは、「愛知用水の重要性」「水源地への感謝」「先人の偉業」などを、次世代に繋げていくことを目的に開催したもので、ステージ上では、実行委員長である大村愛知県知事らによる開催を祝う、くす玉割りを行った後、知事からは挨拶の中で、巨大な国家プロジェクトとして進められた愛知用水建設の歴史や、愛知用水が農水、上水、工水の安定供給と愛知の発展に役割を果たしてきたことに対する感謝のお言葉がありました。

また、引き続き知事には、事前に募集して選考された絵画とフォトの各コンクール作品入賞者への表彰状の授与も行って頂きました。

この後には、ステージ横の大型モニターを使って、上流から下流の4つのチームを会場とWEBでつなぎ、愛知用水との関わりや60周年を迎えるにあたっての思いなどについて、各チームからそれぞれ工夫を凝らした発表がなされ、水源地と受益地が一度に交流することで、愛知用水を通じた絆の強さを再認識するとともに、将来にわたって愛知用水の水の恩恵と、水源地への感謝の念を繋げていく良い機会になったものと考えています。

最後に、実行副委員長の坪井中部支社長は、長年にわたって支えて頂いている水源地、受益地、関係機関の皆さんに感謝するとともに、未来に向けて愛知用水を適切に管理し、その役割を十分に発揮するよう心がけ、みなさまから親しみ続けられるように業務に邁進すると締めくくりました。

この他に、記念イベントに合わせて、誰もが簡単に愛知用水について知ることが出来る「WEB博物館」を愛知用水総合管理所のHP内にて開館するとともに、60周年記念パンフレットの配布も同日より開始しました。

「WEB博物館」はこちら <https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/webmuseum/>

【4つのチームと発表者及び内容は次のとおりです】

1. 農業用水チーム 半田市有脇小学校の児童
かいどり（池干した新田池の在来魚の保護と外来種の駆除）の活動報告と、ため池への感謝。
2. 水道用水チーム 愛知県営水道の職員
尾張東部浄水場から、浄水場の役割や水道用水ができる工程、水源地への感謝。

3. 工業用水チーム 大王製紙の社員

岐阜県可児市の大王製紙の工場から、商品紹介、工場での水の使われ方、貴重な水の大切さ。

4. 水源地チーム 王滝村・木曾町の職員

牧尾ダムから、王滝村の紹介、牧尾ダムとの関わり、水源地の環境保全
木曾町の紹介、牧尾ダム建設による移転、みよし市との友好提携。



■愛知県知事展示ブース視察



■くす玉割り



■中部支社長挨拶



■愛知用水スタッフ

木曾川用水総合管理所

○ 環境水路の生き物調査に参加しました！！

7月1日（木）美濃加茂市立山之上小学校4年生の児童19名が学校付近の環境水路において、「生き物調査」を行いました。機構からは、美濃加茂管理所が参加しました。岐阜県可茂農林事務所や木曾川右岸用水土地改良区連合等の職員から環境水路の目的・役割や農業用水路について学び、指導する講師「安藤先生」とともに水路に入り、カワムツやドジョウなど川の中の生き物を採取しました。

水路に生息する生き物が川をきれいに美しく保てることを観察をとおして知り、また、あらためて、川のはたらき、大切さを学ぶきっかけにもなったようです。

コロナ禍の中ではありましたが、感染予防対策にも配慮し、児童たちは野外での活動に歓喜の声をあげ、楽しみながらの勉強会になりました。



■ 生き物の採取状況



■ 何がとれたかなあ

○ 豊川総合用水土地改良区が木曽川右岸施設を視察しました

8月6日（金）愛知県豊橋市に事務所がある豊川総合用水土地改良区の小久保理事長外3名が昨年度に事業が完了した木曽川右岸施設を視察しました。

豊川総合用水土地改良区は、豊川用水を管理する機構の豊川用水総合事業部と密接に関係する土地改良区です。

豊川用水でも緊急改築事業等が進められてきていますが、木曽川右岸施設での同様な事業の実施内容や揚水機場などの施設を視察することにより、参考になるとのことでした。

当日は、木曽川右岸連合土地改良区の協力を得て意見交換等も行い、両改良区の間も広がり、有意義な視察となりました。



■ 概要説明の様子（美濃加茂管理所）



■ 神渕沈砂池視察の様子

岩屋ダム管理所

○ 馬瀬小学校校外学習で岩屋ダムを見学！

10月7日（木）、下呂市馬瀬にある馬瀬小学校5年生の児童3名が社会科校外学習の一環として、岩屋ダムの見学にやってきました。

ダムの役割や仕組みについて説明をした後、ダムの堤体等の施設を見学しダムの大きさなどを実際に体験してもらいました。近隣の小学校ということもあり、岩屋ダムに見学に来るのは初めてではなかった児童もいたようですが、普段あまり見ることはないダムの設備に児童たちは興味津々で、職員に積極的に質問をするなど、意欲的に岩屋ダムのことを学んでいました。



■ ゲート見学

阿木川ダム管理所

○ インターンシップを実施しました

10月12日（火）～14日（木）に地元恵那農業高等学校環境科学科2年生の生徒4名が阿木川ダムに来所し、インターンシップに参加しました。

初日は阿木川ダムの概要や治水効果、洪水操作に関する説明を聞いた後、ダム湖面巡視、貯水池周辺巡視、ドローン操縦訓練を行いました。

2日目は電気設備点検、機械設備点検、ダム堤体観測、さらに水質調査の一環としてダム湖で採取した水に生息するプランクトンを顕微鏡で観察しました。

3日目はダム下流巡視を行った後、防災資料館の集客率を上げるためにどうすれば良いか等を職員と議論しました。

最後にインターンシップで学んだことや感想を管理所職員にパワーポイントを使って発表していただきました。今後インターン生は、秋に校内で行われるインターンシップ報告会にて阿木川ダム管理所で学んだことについて発表することとなっているそうです。

短い期間ではありましたが、当管理所でダムに係る様々な体験をして頂き、ありがとうございました。



■ダム湖面巡視・水質調査



■ドローン操縦訓練



■電気設備点検



■ダム堤体観測

徳山ダム管理所

○ 船舶「とくまる」の救難訓練を実施しました

8月に発行した「水通信」では、ダム湖上流域への輸送手段として船舶を利用するため、職員に対して船舶講習会を実施していることを紹介しました。

徳山ダムでは、施設の維持管理や更新のため船舶でしか行けない現場にトラックや重機を運搬及び人の輸送を行うための管理用船舶「とくまる」の運航も行っていますが、今回、乗船者の安全確保のため運航中における事故を想定した救難訓練を9月24日（金）に実施しました。



■管理用船舶 とくまる

訓練は、エンジンから火災が発生し航行不能となった事故を想定して、救助訓練、消火器、救命浮環、救命胴衣の設置位置の確認等を行いました。訓練により事故発生時の対処方法を習得し、今後も安全運航に万全を期して参ります。



■ 船舶救助訓練の様子



ブレイクタイム 四文字熟語
【 意匠惨憺 (いしょうさんたん) 】

・物事を考案するのに工夫をすること、いろいろな苦勞をすること。

長良川河口堰管理所

○ 大規模地震を想定した地震防災訓練を行いました

9月1日（水）中部支社と連携し南海トラフの大規模地震が発生したことを想定した地震防災訓練を行いました。この訓練では、地震発生に伴う初動態勢の確立及び情報収集・伝達の訓練並びに臨時点検・応急対策等の訓練を行い、職員の防災業務における円滑かつ適切な遂行及び防災意識・対応能力の向上を図りました。

また、個別訓練では、①携帯電話の安否確認サービスを用いた“情報伝達訓練”、②桑名市の指定避難所としての機能を持つ管理所資料館「アクアプラザながら」における“避難所開設訓練”、③排水作業が必要となった場合を想定し、“防災用資機材を用いた排水操作訓練”、④管理所から共同溝を経由して各ゲートに接続されている電源及び通信ケーブルが損傷したことを想定した“電源及び通信ケーブルの切り替え訓練”に取り組みました。



■避難所開設訓練



■電源・通信ケーブルのルート切替訓練



ブレイクタイム ことわざ

【 秋風と夫婦喧嘩は日が入りや止む 】

・秋風が日暮れになると静まるように、夫婦喧嘩も夜になるとおさまるといふこと。

味噌川ダム管理所

○ 地震防災訓練を実施しました

9月1日（水）、中部支社と連携し南海トラフ地震が連動して発生した大規模地震を想定し、初動態勢の確立、情報収集・伝達訓練及び応急対策等を実施しました。

近年では、大災害につながる地震が各地で発生していることもあり、いつ何時発生するかわからない災害に備えて、管理所全体で防災に備えることができるよう努めてまいります。



■ 地震防災訓練の様子

○ 交通安全講習会を開きました

味噌川ダム管理所では、9月28日（火）に交通安全講習会を開催しました。交通安全週間にあたるこの日に、木曽警察署地域・交通課から講師をお招きし、交通事故防止のための講話とDVDの視聴を行いました。職員一同交通事故防止の徹底及び一層の交通安全意識の向上に努めています。



■ 講習会の様子

三重用水管理所

○ 赤川の清掃活動を実施しました

9月14日（火）に菰野調整池（きらら湖）直下流の赤川沿いの清掃除草作業を実施しました。

これは、赤川において環境保全活動を行っている「マこもの里自然に親しむ会」と協働で実施しているものです。

これからも水辺の生物たちが赤川で元気に生活出来るよう、定期的に赤川の清掃活動に取り組んでいきます。



■作業前打合せ



■作業風景

○ 地震防災訓練（個別訓練）を実施しました

毎年9月1日（水）に中部支社と連携して実施している大規模地震防災訓練に合わせて、個別訓練として地震発生後に実施する設備【電通・機械】の点検を設備担当職員以外でもできるように、マニュアルを整備し現地訓練を実施しました。

また、設備点検時に現地と管理所で映像を共有できるよう実動訓練を実施しました。



■管理所での映像送信手順の説明



■加佐登調整池での設備点検状況

○ 中里ダムにおいて桑名市消防訓練が行われました

9月3日（金）に中里ダムにおいて、桑名市消防訓練が行われました。

三重用水管理所では、管理している各調整池において、自治体が行う水難事故訓練等に積極的に協力しています。



■空から見た中里ダム

○ 菰野調整池（きらら湖）において「赤とんぼふる里さがし」が開催されました

10月10日（日）に三重用水管理所がある菰野調整池（きらら湖）周辺において、「Gマークのアキアカネをさがせ！～アカトンボふる里さがし大作戦～」が開催されました。これは、三重県民の森スタッフと「マこもの里自然に親しむ会」が開催しているものです。夏の間は涼しい山の上で過ごし、秋になったら麓に下りてくるとんぼ「アキアカネ」。毎年、御在所岳ではアキアカネの翅（つばさ、はね）に「G」を書くマーキング調査「アカトンボふる里さがし大作戦」が行われています。今回は、麓（菰野調整池周辺）に下りてきたアキアカネをみんなで探しました。

みなさんのところで、Gマーク付きのアカトンボが見つかったら、三重用水管理所まで連絡ください。



■ トンボを追いかける



■ 捕まえたトンボ

○ 船舶操縦訓練を開催しました

10月7日（木）および10月14日（木）の2回に分けて、船舶操縦訓練を開催しました。

打上調整池と中里ダムは、湖を周回する道路がなく湖面巡視やドローンによる空撮による点検を定期的実施しています。

今回は、船舶の操縦訓練を実施し危険箇所の把握や船舶運転時の注意事項などを共有しました。



■ 訓練の様子①



■ 訓練の様子②

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー 【令和3年11月～12月】

新型コロナウイルス感染防止により、各イベントについては自粛しております

編集後記

【担当課：中部支社事業部水管理・防災課】

今年もかんがい期（農業用水を中心に水需要が増大する時期）、洪水期（雨が多く、洪水に対する備えが必要な時期）が無事終わりを迎えました。

日々の水運用水については、春以降、降雨に恵まれ、各ダムにおいてほぼ満水位で推移し、渇水等の調整をすることなくかんがい期を経過しました。

一方で、洪水対応については、8月のお盆の時期に長期間停滞した前線を含め、前線性の雨の長期化、時間降雨の増大により、防災対応が増加して経過しました。多数のダムで8月の月間降水量が平年の3倍を超える他、9月以降の台風上陸が減少するなど、気候変動の進行を実感しています。

今年度の水管理・防災対応については、各事務所及び中部管内でそれぞれ振り返り、よかった点、反省点を洗い出し、また来年度以降のよりよい管理につなげていきたいと考えています。引き続き、ご指導よろしく申し上げます。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

[mailto: chubu_water@water.go.jp](mailto:chubu_water@water.go.jp)

*** 『第183号は、12月下旬に発行する予定です。』 ***
バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	https://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社